

六月のことば

26歳という若さでこの世を去った、金子みすゞという天才詩人がいます。その短い生涯の中で彼女は、512編もの作品を遺しました。その512編もの作品の代表作に『大瀧』という詩がございます。ご紹介いたします。

朝やけ小やけた 大量だ 大はいわしの 大量だ
はまは祭りの ようだけど 海のなかでは 何万の
いわしのとむらい するだろう

私たちは鬼にも角にも、目に見える華やかさの方ばかりに心を奪われがちですが、裏に隠れて美の華やかさを支えている目には見えない部分があるということを見えなければならぬでしょう。喜びの背後には、それを支えている労苦、もしくは悲しみが必ずあるということを、この詩は教えてくれているのではないのでしょうか。子どもたちが見えないものに目を注ぐことが出来ますように。そして目に見えないものを大切にすることが出来ますように。

『私たちは目に見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するです。(聖書)』

◎六月の保育目標

『元気な身体と強い心』く探ってみるく

【聖句】「あなたの父と母をうやまえ。兄弟が和合して共にいるのは、いかに麗しく、楽しい事であろう。」

- † 早寝・早起き・手洗いを励行する。
- † 虫歯予防第一・時の記念日を迎えて、規則正しい生活する。
- † 花の日、父の日を迎えて、人を喜ばせ、また感謝する事を体験する。
- † 遊びや生活の中で、自分の気持ちを伝えようとする。
- † 身近な自然や生き物に触れる。また、様々な道具や素材に触れる。
- † 初夏から夏への季節の移り変わりを感じる。
- † 聖書のお話や讃美歌に親しむ。

◎六月の行事予定

- 三日(金) 内科検診
- 七日(火) 茶道教室(年長組) 於 露橋まき館
- 九日(木) 歯科検診
- 十日(金) 花の日礼拝・各所訪問
- 十六日(木) お話クラブいちごちゃん来訪日
- 十七日(金) お誕生会
- 十九日(日) 父の日親子礼拝(午前九時半より)
- 二八日(火) プール開き
- 二九日(水) 避難訓練(津波想定)

- ※体育教室 八日(水)・二三日(水)
- 音楽教室 二日(木)・九日(木)・二三日(木)・三十日(木)
- 英語教室 十五日(水)・二四日(金)

シャカイ毛織りのご寄付を受けています。お天気と畑のコンディションを見て日にちが決まり次第 お知らせします。長靴をお持ちください。

◎五月の行事報告

☆二日(月)、暖かい陽さしの下、真っ赤に美をつけた堀先生のお家に、さくらんぼ狩りにでかけました。防護ネットで守られたさくらんぼも、12人の子どもたちにかかると、ひと

たまりもありませんでした。木に残ったさくらんぼも摘んで、園に持ち帰ることが出来ました。いつもこの日のために、お庭を開放してくださる堀先生に感謝です。ありがとうございました。

☆十五日(日)は、大好きなお母さんに『ありがとう！』そして、神さまに『大好きなお母さんをくたさつてありがとう』と親子そろって母の日礼拝を守ることが出来ました。一生懸命に描いた似顔絵、余念なく心を込めて製作した花瓶やメッセージカードをプレゼントすることが出来ました。また、この日に捧げた献金は、ウクライナで起きている戦争で家族やお家を失い、国を追われた人々に届けるため、ばら組の子どもたちの手で、市役所を通して日本赤十字に送金することになりました。幼稚園の生活の中で、日々行われる礼拝を通し、困っているお友だち、悲しんでいるお友だちのことを、いつも欲心にとめて、手を差し伸べ、折ることのできる子どもに育てて欲しいと願っています。

☆十九日(木)、重松映良ちゃんのおじいちゃん、おばあちゃんのご厚意により、杵築市山中の畑をお借りして、さつまいもの苗植えをすることが出来ました。竹の棒に苗を挟んでえる方法を丁寧にご教授いただきながら一本一本、自分の手で植えていくことが出来ました。広い畑には、どうもろこし、ジャガイモ、カボチャ、ほおずき等々、たくさんのお作物が植えられており、あぜ道にはカエル、お庭には虫の卵(泡)や虫の赤ちゃん、軒先にはツバメの巣があり、丁度、雑に餌やりをする場面にも遭遇し、実際にいろいろな生き物、自然に触れる豊かな時を持つことが出来ました。また、手作りの看板も準備してくれており、早速、持ち帰って子どもたちが『しらゆりばたけ』と書いて、さつまいも畑に立ててもらっています。感謝！秋の収穫が楽しみです。

くお願いく

10日(金)は、お家から、お花をお持ちください。この日は園服・表わら帽子・体操服の着用をお願いします。花の日礼拝の後、お花を持っていつもお世話になっている方々を訪問をします。



『神さま、ありがとう！おかあさんをくささって』 2022. 5. 15